

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: コウサ生コンクリート 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		会社の経営理念及び安全目標を明文化しており、経営者が従業員に対し、最低月2回は説明し、共有している。								8	9												17						
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規定があり、入社時や定期的に法令遵守の重要性を発信し、遵守しているかチェックしている。																				16							
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		仕入先等に対し、不当な値引きなどがいないかチェックしている。また、仕入先等と談合をしないように社員教育もを行っている。																			10			16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		経営者が、責任者(専務取締役)と担当者を任命しており、体制を整備している。																					16						
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産保護のマニュアルの配布等によって、知的財産保護に関する知識を周知している。また、取引先などの知的財産を侵さないよう教育している。										8.2	8.3	9															
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報に関しては、取り扱える人を限定し、金庫などを使い、情報漏洩の事故に対する対策を行っている。顧客情報に関しては、プロバイダー契約のシステム上、特定の人しかアクセス出来ないようにしている。																					16						
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		環境負荷低減に向けた法律の改正等をステークホルダーと対話やコミュニケーションをとり共有している。また、定期的な社内会議で取引先からの苦情を精査と記録を残し、再発防止に取り組んでいる。																			16	17							
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5					8		10				12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		地震や水害などの経験を踏まえて、BCPを策定し、年1回毎年4月に見直しを行っている。																				9	11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		経営者が、後継者を選定し、後継者の指導・育成に取り組んでいる。												8	9												17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2																			17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		あらゆる差別やハラスメントの禁止について、就業規則に定めており、従業員に対して、周知徹底をしている。また、経営者が役職者から定期的に報告を受ける体制を整えている。				4.3	5.1					8.5													16.1	16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		日頃より、安全衛生の整備に取り組んでいる。また、年に1回安全大会として、専門家等呼んで労働安全衛生講習会を実施している。			3								8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金の原則を理解し、正社員・契約社員・パートアルバイトなどの雇用形態にかかわらず、公正な処遇を行っている。					5.5						8.5												10.2	10.3			
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		実労働時間を把握・管理し、残業時間の削減や、休日の増・有給休暇の推奨など働き方改革の推進を行っている。			3		5.5						8.5	8.8											10.3				
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		従業員に対して、コンクリート主任技士等の試験や受験対策講習などを定期的に受けさせ、資格取得の奨励している。受験の申し込みや受講料・講習料の支給に関しては会社が行っている。					4	5.5					8	9															
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康診断結果による再診を促し、受診させている。ワクチン接種等の予防医学による健康維持活動を受けやすいように休暇を与えている。			3									8													17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		性別や年齢などによって差別的な待遇をせず、業務や昇進昇格などに関して、均等な機会を提供している。				4.4	5.1	5.5					8.5												10.2	10.3		16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		県外・市外の取引先の会議はウェブ会議で行っている。また、毎日掃除の際に職場の消毒を行うとともに、従業員の体温チェックを行っている。			3								8	9.1						11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		取引先に対して請求書の作成をする際や入金金の管理をする際に、生コンクリートの販売管理システムを取り入れ、デジタル化を推進し、業務の効率化を図っている。											8	9.1									11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●											3	4																	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: コウサ生コンクリート 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害物質の取り扱いにはメーカーより提出された製品安全データシート(SDS)による取り扱い方法に従い、処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		生コンクリートのミキサー車やトラックの燃料の使用量、工場の機械設備などの電力を月別に把握し、それを踏まえたうえで、車両のアイドリングストップの実施や工場の機械設備の効率的な運用や稼働率を減らしている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		燃費は月別に管理し、燃料や電力の使用量から温室効果ガスの排出量を把握した上で、生コンクリートのミキサー車等を従来よりも燃費が良く、二酸化炭素の排出量が少ない新型車へ順次切り替えている。		2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		生コンクリート製造時の排水を再利用したり、汚水は機械設備で処理し、工場外に一切排出しないようにしている。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		生コンクリートが残ったときの残コンは、ブロックにして製品として販売し、再利用することで、産業廃棄物の削減に取り組んでいる。										9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		生コンクリートのミキサー車などを洗浄したときに出る水は、排出するのではなく、その発生した汚水を砂・碎石・処理済みの水に分けて、処理済みの水は生コンクリートを練る時に再利用している。		2.4				6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した取組みが確認されているセメントと製造時に発生した廃棄される水を生コンクリートの材料として使用出来るように処理を行うとともに良質な材料を使用して二酸化炭素排出が多いセメントの使用量低減に努めて環境に配慮した耐用年数の長いコンクリート製造を行っている。										9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	令和4年10月から熊本県の県消費生活課主催フードドライブ活動に参加しフードロス削減に取り組んでいる。	1	2					6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: コウサ生コンクリート 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品を出荷する際に、製品安全シートを作成し、品質をチェックした上で、出荷している。			3.9							9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		工場では安全確保のため、危険個所に色を付けて視覚的に認識出来るようにしている。										9.1	10	11.7							17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		関係団体と共同で行事(地域の清掃活動等)に参加し、小学校での出前講座等も行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地震や水害などの災害を教訓にしてBCPを作成し、確実に避難出来る体制や避難時の連絡網などを整備している。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内でのSDGsに関するメール発信やミーティングを定期的の実施し、従業員にSDGsへの意識づけをしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	生コンクリートの組合などの関係団体と共同で行事に参加し、小学校で生コンクリートについての出前講座を行っている。				4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の就職説明会などに積極的に出向き、地元の学生等を積極的に採用・雇用している。					4.4				8.5 8.6										17
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。